



RI会長 ステファニー・アーチツク
2640 地区ガバナー 野村 壮吾

2024-2025年

Rotary District 2640 Japan



創立50周年
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2212 回例会

2025 年 3 月 17 日(月)



海南商工会議所 4F 12:30～
お誕生日、結婚記念日のお祝い
会員卓話 (株)なかモーター自工
田中 祥秀 君



1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. 会員卓話 (株)なかモーター自工
田中 祥秀 君
4. ゲスト紹介 (株)W.A.O 丸尾 宜延 様
5. 出席報告
会員総数 40 名 出席者数 27 名
出席義務規定適用免除会員 2 名
出席率 71.05% 前回修正出席率 71.05%

6. 会長スピーチ 会長 田岡 郁敏 君

皆さんこんにちは。本日は会員卓話で田中祥秀さんにお話していただく予定です。後ほど、よろしくお願いいたします。先週、13 日から昨日の16日まで、友好クラブのフィリピンマングラウエ イースト ロータリークラブを上田さん、寺下さん、宇恵さん、前田さん、榊原さん、私の6名で訪問してまいりました。詳細は、また来週報告させていただきますが、貧富の差が大きくまだまだ想像を超える貧しさの中それが普通として育っている子供たちや地域のひとびとを見てきました。ジリ貧の日本経済と言われますがいかにか自分たちが恵まれているかを痛感したセブ島の旅でした。次年度以降どんな風に奉仕していけるかを帰りの飛行機の中を含めて話し合いました。あまりにその気になるとやるが多すぎて今後腰を据えて話し合い継続していけたらと思います。



今回、関西空港を利用いたしましたが、現在、来月の13日から開催されるEXPO2025、(関西万博)の開催に間に合うように工事がラストスパートを迎えています。DX(デジタルトランスフォーメーション)の進化により国際線利用の方法が大きく変わってきています。ペーパーレス化と WEB による様々な登録などこちらから情報を得に行かないと、あっという間に置いてき

ぼりをくってしまう。この波は、知らないから別にいいわという人々がどんどん損をしていく社会とも言えます。今回の関西万博のテーマもいのち輝く未来社会のデザインと題して Saving Lives(命を救う)Empowering Lives(命に力を与える),

Connecting Lives(命をつなぐ)をサブテーマにコンセプトを未来社会の実験場として、展示を見るだけでなく世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」しようと訴えています。タイトルが非常に意味の解りにくい言葉が並びイマイチ盛り上がり欠けるような気もしますが、お隣の大阪府で開催されるので一回は行ってみようかと思っています。

今年のさくらの開花予想日は和歌山紀三井寺で3月27日、満開予想日は4月4日になっているそうです。例年よりは少し遅くなるといわれています。最後に本日は例会終了後に理事会を開催いたします。理事の皆さん残っていただけるよう宜しくお願い致します。

7. 幹事報告 幹事 楠部 均 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山城南 RC 3月27日(木) 18:30～

葵庭園 和歌山市谷町

創立37周年記念例会

○例会終了後、理事会を開きます。

8. 委員会報告

○ロータリー財団委員長 宇恵 久視 君

フィリピン、セブ島のプロジェクトを視察し、支援金を手渡してきました。この支援金は、地区 R 財団補助金を原資として、当クラブの支援金をプラスしたものです。私たちが毎年、寄付した財団の資金から、プロジェクト補助金を申請し、交付されますので、引き続き、ご寄付、ご協力をお願いします。

○国際奉仕委員長 榊原 由希子 君

3月13日～16日まで、友好クラブのフィリピン、セブ島のマングラウエ イースト RC を田岡会長、上田さん、寺下さん、宇恵さん、前田さんと私の6名で訪問しました。多くのプロジェクト視察と親睦を深めてまいりました。詳しくは、次回例会で報告します。

3月は「水と衛生月間」です

四つのテスト 貴方はこれにたっていますか

- ① 真実かどうか ③ 好意と友情を深められるか
② みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

9. 海南フェスの報告 海南フェス実行委員会 代表 (株)W.A.O 丸尾 宜延 様

みなさん今日は、昨年の10月に卓話させていただきました海南フェスの報告をさせていただきます。



こども相撲大会は、2025年2月23日(日)、海南市民体育館で開催しました。和歌山県出身の現役力士をはじめ、3人の現役力士が来てくれました。また、旧ショッピングタウンココ跡地会場にキッチンカーが勢揃いし、多くの市民の皆さんが来場。この他にも沢山のイベントで賑わいました。



この海南フェスは、子育てを行政だけに頼るのではなく、街全体で取り組む環境を作ること、子育て世代や予備軍の若い人たちの流入を図り、海南市を発展させることを目的としています。

10. 会員卓話 (株)なかモーター自工 田中 祥秀 君

久しぶりの卓話です。宜しくお願いします。本日は、自動車を取り巻く環境、今後の展望、会社案内をさせていただきます。



はじめに世界最大のデジタル技術見本市「CES2025」では、AI技術の進化と、自動車業界におけるEVシ



フトや自動運転技術の進展が顕著でした。自動車業界の動向

ホンダは独自 OS「アシモ OS」搭載のEVコンセプトモデルを発表。BMW は

次世代車載 OS「X」と「パノラミックビジョン」を披露。中国メーカーの ZEEKR と長城汽車は、高性能 EV や PHV、内製部品などを展示し、技術力をアピール。欧米メーカーは展示規模を縮小傾向です。

AI 技術の活用

コンチネンタルは AI と生体認証技術を用いたデモカーを展示。ヴァレオは AI による飲酒運転検知システムや救命サポートソフトを開発。ソニー・ホンダモビリティは、AI を活用したインフォテインメント機能や高度な ADAS を搭載した EV「アフィーラ 1」を展示。



新たなモビリティの提案

アプテラ・モーターズはソーラーEV を展示。太陽光のみで1日最長64km、車載電池に1時間充電すれば約644km走れる。

全体としては AI がトレンドで、モビリティ分野でも AI を活用した新たな提案が多数見られました。

自動車業界では、技術を持った異業種からのモビリティ部門への参戦もあり、EV シフトや自動運転技術の進展とともに、中国メーカーの存在感が増しています。既存の欧米自動車メーカーは、巨額の開発投資が必要な次世代技術の収益化に苦慮している様子が伺えました。

AI まわりの話としては、最新鋭の高価な超高性能 AI と、中国が今年示したような安価でも十分な性能の AI の 2 極化が、今後起きると見る専門家もいます。

現在の自動車市場

電気自動車(EV)市場は成長が鈍化、競争が激化しています。一方、ハイブリッド車(HV)市場は日本メーカーを中心に活況を呈していますが、中国メーカーもプラグインハイブリッド車(PHV)で攻勢を強めています。

EV 市場の現状

初期需要の一巡、修理費の高さなどが原因で販売が低迷。テスラも 2024 年の販売台数は 13 年ぶりに前年割れ。各メーカーは販売奨励金を増やして対応。ドイツでは補助金が打ち切られ、コスト削減による普及シナリオが崩壊。

HV 市場の活況

ホンダ、トヨタ、スバル、マツダなど日本メーカーが強みを発揮。ホンダは HV で得た利益を次世代 EV に投資する戦略。トヨタは HV が人気で利益率も高い。中国の BYD は PHV で EV を上回る販売台数を記録。高燃費・長距離走行の PHV を低価格で提供し、海外展開を加速する可能性。

日本メーカーの課題

日本メーカーの PHV シフトは遅れている。世界的な燃料高が続く中、HV の優位性がいつまで続くかは不透明。中国メーカーに対抗するため、HV の改良と PHV の投入を急ぐ必要がある。EV シフトへの本格化を見据えた戦略も重要。

自動運転の現在地

自動運転サービスの実用化が近づく中、各社が異なる戦略で開発を進めています。自家用車の「レベル 3」(条件付き自動運転)は足踏み状態ですが、「ロボットタクシー」などの自動運転サービスが実用化へ向かっています。米国ではウェイモに続き、テスラが 2025 年以内にサービスを開始予定です。日本でもティアフォーが年内に公道で「レベル 4」(特定条件下における完全自動運転)の運行を目指しています。



各社の戦略

テスラ

AI を活用した自動運転タクシー「サイバーキャブ」を 2026 年に発売。2025 年にカリフォルニア州とテキサス州で「レベル 4」サービスを開始。世界中の走行データから学習する AI が強み。

ティアフォー

自動運転用 OS を公開し、様々な企業と連携して技術を開発。国内で「レベル 4」の認可を取得し、本格運行を目指す。

日産自動車

AI を使わない「ルールベース」で 2027 年度のサービス開始を目指す。判断基準が明確なため、製造物責任上の問題を回避。

ホンダ

ロボットタクシー事業から撤退し、AI を活用した自家用車の「レベル 3」に注力。

トヨタ自動車

自動運転の開発競争から距離を置き、NTT と協業して交通事故ゼロを目指す。ウーブン・シティでの技術開発を進める。

課題と今後の展望

事業性の確保は車両コスト、システム保守、安全対策などの費用がかかる。事故リスクは AI の判断基準が不明確な場合、責任問題が発生する可能性がある。新興勢力と既存メーカーが異なる戦略で競争。自動運転技術の進化と実用化が進むが、「正解」はまだ誰にも見えていない様子。

レベル 4 認可の取得に至った長野県塩尻市の自動運転バス車両 Minibus



小型モビリティ市場が拡大

自動運転技術の確立の手前で、現在身の回りに起こっている現象としては、電動キックボードなどの小型モビリティ市場が拡大しつつあります。ですが、事故リスクや高齢者向けモビリティの課題など、普及には懸念も残っています。



市場の現状

電動キックボードは若年層を中心に利用が拡大。高齢者向けには電動車いすがあるが、速度や利便性に課題。スズキやヤマハ発動機などが新たな小型モビリティを開発中。2040 年のスローモビリティ市場は現在の 3 倍に成長する見込み。

課題

電動キックボードの事故リスクへの懸念。高齢者向けモビリティの速度や利便性の向上。小型モビリティの安全基準や走行ルールの整備。市場の成長には、高齢化時代のモビリティを担保する仕組みが必要。

今後の展望

各社が多様な小型モビリティを開発し、市場が活性化。シェアリングサービスなど、新たな利用形態が普

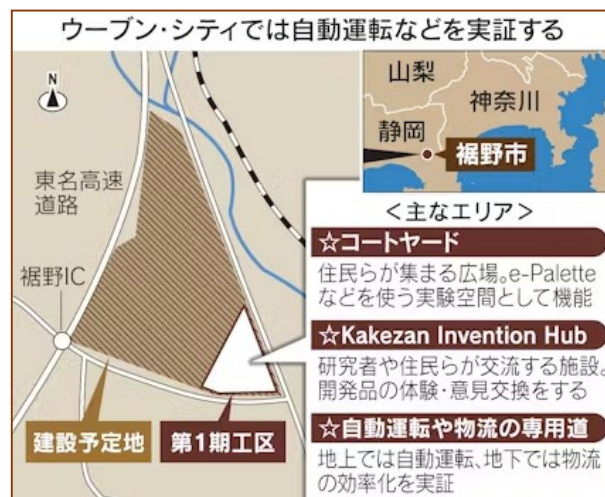
及。安全対策やインフラ整備が進み、小型モビリティが移動手段として定着。

失敗例

中国には「老頭車(ラオトウロー)」と呼ばれる車がありました。「老頭」は、日本語のロートルの語源で(お年寄りのお気に入り)といった意味です。多くは三輪で、軽自動車より小さい車体でした。時速 40 キロ程度の低速ながら車道や自転車道を縦横無尽に走りまわる代物でした。日本でのミニカー「原動機付き自動車」×1.5 的な乗り物で、軽自動車並みの車格のものも多くありましたが、安全装備や品質面でお察しのありさま。当然、事故多発で、とうとう近年禁止されました。「こう」はならないようにしたいものです。

新しい試みの話題

トヨタ自動車は静岡県裾野市に建設中の実験都市「ウーブン・シティ」の一部を公開しました。概要は 2020 年 12 月に閉鎖したトヨタ自動車東日本・東富士工場の跡地で建設を進めている。「モビリティのテストコース」と位置付け、「人」「モノ」「情報」「エネルギー」の 4 領域で新たなモビリティの価値を創出する。今秋に実証を始める「フェーズ 1 エリア」を公開。



公開された施設は、自動運転車の開発などに使われる道路や交通インフラ。街全体の物流やエネルギー供給を担う地下エリア。プロダクトやサービスを開発するインベンターズ(発明家)と住民(ウィバーズ)が集う施設。「カケザン・インベンション・ハブ」:住民とインベンターズがつながる施設。「コートヤード」:街の中心となる公園スペース

特徴はデジタルツインを活用し、デジタルとリアルを相互に使って開発を加速する。地下エリアを設け、物流やエネルギー供給を効率化。「インベンタージェ」:開発やものづくりを支援する施設。

今後の展望

今秋以降、関係者とその家族約 100 人が生活を開始。最終的にフェーズ 1 エリアでは約 360 人が生活。フェーズ 2 エリアを含めると、将来的には 2,000 人程度が生活する見込み。ウーブン・シティは、過去の工場跡地を未来の技術開発拠点として生まれ変わらせる、の革新的な試みです。

株式会社なかモーター自工の沿革

昭和 41 年に 中 正碩 が野上町下佐々で自動車分解整備事業を開始。その後、野上町動木において、株式会社なかモーター自工を設立。現在に至るまで、数々の事業を拡大。営業所や整備工場のほか、中古車



販売、各メーカーのディーラー契約など新店舗を建設。令和 4 年に代表取締役を田中 祥秀に継承している。

自動車業界は、人口減少や自動車離れ、シェアリングの利用拡大などにより、大きな変革期を迎えています。また、環境への配慮やエネルギー効率の向上を目的として、電気自動車や水素自動車への関心も高まっています。自動車そのものの枠組みさえ変わろうとしています。

自動車業界の課題と展望

人口減少や自動車離れにより、国内の自動車販売台数は減少傾向です。人手が不足しており、自動車を製造する人がいなくなる可能性すらあります。自動車を所有する必要性が低下し、カーシェアリングやレンタカーなどの利用が増える可能性があり、電気自動車や水素自動車への関心が高まっています。

自動運転技術の実用化

長い目でみれば社会全体を巻き込んだ EV 化自動車の流れは止まりません。ソフト面、ハード面の課題が多く、足踏みしてはいますが、きっかけ一つで突然急激な変化が起きないとも限りません。「その時」に取り残されないように、むしろ先頭集団に加わる覚悟で取り組んでいきます。

11. 閉会点鐘

次回例会

第 2213 回 2025 年3月 17(月)

海南商工会議所4F 12:30～

会員卓話 フィリピン、セブ島訪問報告



ニコニコ・BOX

田中 祥秀 君	今日は拙い話ですが、よろしく お願いいたします。
田岡 郁敏 君	田中祥秀さん、今日は卓話よろ しくお願いいたします。
楠部 均 君	〃
榊原由希子 君	〃
宇恵 久視 君	田中さん、今日の卓話楽しみで す。勉強させていただきます。

世界を変える行動人



世界でよいことをしよう



クラブ会報・雑誌委員会 委員長 重光 孝義 副委員長 寺下 卓 岩井 克次 千賀 知起 宇恵 久視 編集 寺下 卓

グローバル補助金でモンゴルに図書館を建設

おとしに世界初となる、ロータリークラブによるグローバル補助金プロジェクトをモンゴルで成功させた大阪東ロータリークラブ。今回は、同クラブの会員により、現地を視察したときの様子をブログで紹介いただきました。 <https://on.rotary.org/3Xz4MYL>

初めてグローバル補助金を提唱したロータリークラブが現地で感じたこと。昨年 5 月、補助金でモンゴルに設立した図書館を実際に視察することになりました。しかし、ここで一つの不安がありました。私たちのクラブの会員たちはグローバル補助金についてあまり理解しておらず、視察はゴールデンウィーク中だったため、モンゴルに一緒に来てくれる人はいないと思ったのです。ある晩、緊急で全員とグループ電話を行い、参加して欲しいという旨の話をすると、予想に反して 9 名もの会員が参加を申し出てくれました。

伊丹空港の国際線発着場に集合。約 12 時間のフライトの後、チンギスハン国際空港に到着。出迎えてくださった協同提唱クラブの Khuree ロータ



リークラブの方々と共に、首都ウランバートル市のホテルへ向かうバスに乗り込みました。日本と比べて緯度の高いモンゴルでは、19 時を過ぎても夕焼け空が一面に広がっていて、日本では見慣れない草原や丘の情景が車窓を流れていきます。とはいえ、1 時間ほどで到着した市内には、もはや自然の景色はなく、高い建物やホテル、飲食店が立ち並んで、思っていたよりも発展しているという印象がありました。

翌日の午前、設立された図書館がある二つの学校を訪問し、開館式が催されました。各学校へはバスで移動しましたが、ウランバートルから少し離れると道は舗装されておらず、昨日市内で感じた街の発展は一部のことなのだと実感しました。

学校では、生徒たちによるモンゴルの伝統的な舞踏や楽器の演奏、歌が行われ、テープカットも初めて経験しました。このような経験は一生に一度のことだと思います。また、校長先生いわく、図書館に生まれ変わった部屋は、改装前は寒くて何もない、誰にも使われていない部屋だったそうです。

補助金に参加して得られた多くの学び

今回は 2 校で図書館を設立しましたが、図書館を設置する学校を決めるために Khuree ロータリークラブの方々が直接足を運び、現場を見て決定したことを知りました。これらの学校はウランバートル市外のいわゆる「ゲル地区」にあり、ここには電気や水道もない家庭があると聞きました。そのような状況で学習環境が整うはずがないと改めて気づき、グローバル補助金の意義を改めて実感しました。